

競技注意事項（大会申し合わせ事項）

本大会は、障がいの有無に関係なく一緒に競技することで理解を深めることを主旨としています。各種目に異なる障がいのある競技者が参加しています。障がい特性により競技規則が認められた範囲内で配慮がされることがあります。この競技注意事項は2つの対象に向けて書かれています。「全競技者対象」の部分はすべての参加者に共通の内容です。障がいのある競技者は「パラ競技者対象」の項も適用となります。

1. 競技規則について

【全競技者対象】

2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施します。また、ワールドランキングコンペティション(WRK)の対象大会(小学生、車いすを除く)となります。ただし、パラ種目競技者については、立位・車いすの部で該当する競技クラスにおいて、nto2022-2023 World Para Athletics (WPA)競技規則が適用されます。

日本陸連公認の部の選手の衣類については、日本陸連広告規程が適用されます。ただし IPC 登録者で WPA 公認対象種目では、WPA 広告規程が適用されます。それ以外のパラ種目競技者については、WPA、World Athletics(WA)どちらの広告規程でも可とします。チーム名については、規程内の「国名」の項を適用します。

なお、基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨ご了承ください。

本競技会期間中における競技開始前の練習においても同様とします。

【パラ競技者対象】

WPA 公認競技会(エンドース)として開催のためパラ競技者のなかで IPC に登録し国際クラス分けステータスが C または R の記録は WPA 世界ランキングの対象となります。ただし、本競技会では SIS を使用します。パラ世界記録・アジア記録は公認対象となります。

2. 受付について

【全競技者対象】

競技者受付は、2階正面入口エントランスに設置します。ただし車いす競技者のみ1階、Bゲート脇で行います。受付開始は、8時です。

3. ウォームアップ場について

【全競技者対象】

- ① 本競技場には、ウォームアップ用競技場(サブトラック)はありません。
- ② 8:00~9:30、競技場のトラック全周を使つてのウォームアップが可能です。内側4レーンは車いす競技者、外側4レーンは立位競技者用とし、コーンで仕切ります。
- ③ 上記の時間以外の競技中は、バックストレート、トラック外側のコーンで示されたエリアでのみ立位競技者のウォームアップが可能です。また、100m 競走実施中に限り、バックストレート側のトラックも、使用可能です。

す。

- ④ 逆走や走路にとどまる等、危険をともなう行為を避けてください。
- ⑤ ウォーミングアップ終了後は速やかに退場してください。
- ⑥ このエリアに留まっただけの観戦や応援は認めません。
- ⑦ ウォーミングアップのため競技区域内へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行してAゲートから入場、ダッグアウト下通路を通過（階段や急なスロープの通行に不安や支障のある方はグラウンド隅の通行も可）移動し、終了後はAゲートから退場することとします。なお、エレベーターの使用については階段の通行に支障のある方を優先してください。
- ⑧ ウォームアップ中やそれに伴う移動の際は、競技役員（スタッフ）の指示に従い、事故のないよう十分に注意してください。

【パラ競技者対象】

- ⑨ 車いす競技者で400m以上の種目では、希望すればレース前に1周走行することを可能とします。

4. 各種書類について

【全競技者対象】

「欠場届」の配付および受付は「TIC」にて行います。（TICは競技場2階正面、競技者受付脇に設置します）
「重複出場届」の配付および受付は「招集所」にて行います。

【パラ競技者対象】

上記に加え、「リクエスト・フォーム（ルールにないアシスタントの入場など）」の配付および受付は、「TIC」にて行います。

また、「補助申請書（スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等）」の配付および受付は「招集所」にて行います。

5. 招集について

【全競技者対象】

- ① 招集所は競技場 A ゲート内側に設けます。
- ② 下記の招集開始時刻に招集所に集合してください。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の 30分前	15 分前
フィールド競技	競技開始時刻の 40分前	30 分前

- ③ 競技者はそのまま競技ができる服装にアスリートビブスをつけ、必要に応じて防寒着等を着用して集合し、荷物はスパイク（必要な場合のみ）、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限にしてください。
また、シューズ袋など類似品の多いものについては記名や目印をつける等、他者の持ちものと取り違えることのないよう、注意してください。なお、競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場で行ってください。
- ④ 代理人による招集は一切認めません。

- ⑤ 招集所では、アスリートビブス、スパイク、衣類・バックなどの商標、車いす、所持品、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。また、トラック競技に出場する競技者にはレーンナンバー標識(ステッカー)を配付します。なお携帯電話等の機器を競技場内に持ち込むことはできません。
- ⑥ 欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を「TIC」に提出してください。
- ⑦ 競技種目が重なり一方の種目の招集を受けられないまたは、招集完了時刻に間に合わない場合は、招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所へ移動して当該種目の審判にその旨を伝え、指示に従ってください。
- ⑧ 持ち込み禁止物は招集所で預かり、TIC で返却します。
- ⑨ コーチや付き添い者の招集所への立ち入りは認めません。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらず、直ちにスタンド等へ戻るよう努めてください。

【パラ・デフ競技者対象】

- ⑩ パラ・デフ競技者は⑤に加えて、車いす競技者はレーサー、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。

6. アスリートビブスについて

【全競技者対象】

- ① アスリートビブスは、1名につき2枚配付します(胸・背用)。
- ② アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けてください。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付けるだけでも構いません。
- ③ トラック種目では、招集所で配付された腰ナンバー標識を右側の腰に確実に付けます。ガイドランナーも同様です。車いす競技者はヘルメットの右側に付けます。

【パラ・デフ競技者対象】

- ④ 車いす競技者は、背用を車いすの後部に付けます。(レーサー使用の選手においては、胸用は付けなくても構いません)。

7. 競技エリアの入退場について

【全競技者対象】

- ① 競技エリアの入場は、招集所で手続きを終え競技役員に誘導された競技者、ガイドランナー、アシスタントのみ可能です。
- ② 招集所から競技エリアへの入場、および競技終了後の退場は競技役員の指示に従ってください。
- ③ 100mに出場する競技者は、競技終了後、フィニッシュ地点からトラックの外側の部分(雨天時はダッグアウト下通路)を反時計回りに通行し、バックストレート側を通過してスタート地点に戻り、それぞれの荷物を回収してAゲートから退場します。
- ④ 1500m、5000mに出場する競技者は、競技終了後、反時計回りに通行し、荷物を回収してBゲートから退場します。

- ⑤ 400mに出場する競技者は、競技終了後、荷物を回収してBゲートから退場します。
- ⑥ 走幅跳については、競技終了後、競技役員の誘導によりAゲートから退場します。
- ⑦ 上記③～⑥の経路を基本としますが、競技役員の誘導がある場合はこの限りではありません。

8. 競技について

【全競技者対象】

- ① スパイクピンの長さは、9mm以下とし、走高跳の場合は、12mm以下とします。
- ② 招集完了後は練習を含めすべて競技役員の指示に従ってください。
- ③ 競技者は、勝手に競技場所を離れることはできません。
- ④ 不適切な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外されます。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされます。
- ⑤ 競技規則7条2および16条5(WPA8条の2および17条5)による警告を2回受けた競技者は失格とし、本競技会における以後のすべての種目に出場できません。

【パラ競技者対象】

- ⑥ 両足義足使用の競技者(T61、T62)は、招集時にMASH(最大許可身長)の計測を行います。
- ⑦ アイマスク、アイパッチ

T11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければなりません。検査は招集時に行いますが、スタート地点、並びにフィールド競技場所で再検査を行うことがあります。

⑧ ガイド、およびアシスタント 【パラ競技者対象】

- i. ガイドランナーおよびフィールド種目のアシスタントは、各自で用意したビブスを着用します。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能です。
- ii. T11、T12の競技者とガイドランナーは、常にテザー(ガイドローブ)でつながっていないてはなりません。違反した場合は失格となります。
- iii. T11、T12のガイドランナーが競技者の推進を助ける助力を加えた場合、またフィニッシュ時に競技者が先行しなかった場合には、ガイドランナーによる違反として競技者は失格となります。
- iv. T11、T12の跳躍競技においては、アシスタントを同行させることができます。T11の跳躍は2名以内、それ以外は1名です。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導することができますが、競技成立以前に「砂場」に侵入し競技者を誘導した場合は、アシスタントによる違反となり、その試技は無効試技となります。
- v. T12、T20、T35-38、T42-47、T61-64のトラック競技においては、招集時にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を「招集所」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができます。
- vi. T20、T35-38、T42-47、T61-64の走幅跳においては、招集時に助走路に置くマーカ―の位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカ―を設置することができます。

(1) トラック競技

【全競技者対象】

- i. 記録会のため、トラック種目は予選・決勝の実施はありません。
- ii. レーン順は、プログラムに記載のとおりとします。
- iii. 立位のトラック種目は、申込時の申告(目標)タイム順で組み分けを行います。障がいのある競技者とない競技者は、今回は一部を除き分けて競技を行います。
- iv. 短距離種目では、衝突事故を防止するためフィニッシュ後も自身のレーンを走ってください。
- v. 下記種目においては制限時間を設けます。スタートから下記の時間で競技を打ち切ります。

	男子	女子
立位5000m	25分	30分
立位1500m	15分	15分
車いす1500m	10分	10分

- vi. プログラム進行上支障をきたす場合は、競技を中止させる場合があります。

【パラ競技者対象】

- vii. T11、T12のレーンを用いるトラック種目では、ガイドランナー(伴走者)がいる場合、2つのレーンを割り振ります。
- viii. 車いす競技者は、ヘルメットを着用します。なお、生活用車いすを使用することもできます。

(2) スタート

【全競技者対象】

- i. スタートの合図はすべて英語(「On Your Marks」「Set」)で行います。
- ii. トラック競技はすべて写真判定システムを使用します。
- iii. 競技規則16条8(WPA17条7)により、1回目の不正スタートで失格となります。

【小学生、車いす、一部のパラ競技者を除く全競技者対象】

- iv. 今大会は SIS(スタートインフォメーションシステム)を使用します。

【パラ競技者対象】

- v. 聴覚障がいのある競技者で、日本デフ陸上競技協会への使用申請が受理された場合、光刺激システム(スタートランプ)を使用します。

(2) フィールド競技

【全競技者対象】

- i. 走幅跳、砲丸投の試技数は3回とします。
- ii. 投てき用具は、以下の規格を使用します。

【男子砲丸投】一般 7.260 kg、高校6.000kg、中学5.000kg

【女子砲丸投】一般・高校4.000kg、中学2.721kg

駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 WA 認証砲丸一覧(中学 2.721kg を除く)

用具		種別	メーカー	品名等	規格等	数量	WA認証番号
砲丸	男	一般 (7.260kg)	N I S H I	鉄製	φ 129mm	6	I-99-0083
					φ 125.5mm	4	I-99-0087
	子	高校・U20(6.000kg)	N I S H I	鉄製	φ 117mm	6	I-03-0292
		中学・U18(5.000kg)	N I S H I	鉄製	φ 110mm	14	I-06-0357
	女	一般 (4.000kg)	N I S H I	鉄製	φ 109mm	3	I-99-0084
					φ 103mm	7	I-99-0089
子	中学(2.721kg)	N I S H I	鉄製	φ 90.5mm	12	WA認証不要	
東京陸上競技協会・競技場管理部作成							

(3) 車いす競技

【パラ競技者対象】

- i. 車いすの検査は招集時に行いますが、スタート地点で再検査を行う事があります。
- ii. 車いすの競走競技に出場する競技者は、必ずヘルメットを着用してください。
- iii. セパレートレーンでのトラック種目においては、車いす(レーサー)は、トラック内側(左側)の白線ラインに接触した際はハンドリム(プッシュリム)を 2 回押す間は許されるが、それを越えて押した場合は失格となります。
- iv. セパレートを走らない種目において、車いす(レーサー)は、トラック内側(左側)に侵入して走行した際は、1 回は許されるが、2回以上は失格となります。

10. 靴底の厚さ

【全競技者対象】

- i. 規定を超えるシューズでの出場は認められません。
- ii. 障がい特性により医療目的の中敷き無しでは競技が困難な競技者は、TIC にリクエスト・フォームを提出し許可を得てください。 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

11. 競技用具について

【全競技者対象】

競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければなりません。

【パラ競技者対象】

不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、テザー及びガイドランナー、アシスタントのビブスは各自で用意してください。主催者による貸し出しは一切行いません。持参忘れ、破損や規則に合致せず使用できない場合は、WPA ルールにより DNS(欠場)として扱います。

12. 抗議について

【全競技者対象】

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できます。競技後は、記録の公式発表から30分(大型スクリーン表示時刻を基準とする)以内に競技者自身または代理人が TIC に口頭で申し出てください。審判長が判定し、総務員を通じて裁定を伝えます。

13. ドーピング・コントロール・TUE 申請

【全競技者対象】

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。
- ② 本競技会参加者(18 歳未満の競技者含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- ③ 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。
- ④ 18 歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送で提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- ⑤ ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、ドーピング検査員の指示に従ってテストを受けること。テストを受ける競技者は付き添いを付ける事ができるので、希望する競技者は連絡先(携帯電話など)を事前に準備しておくこと。
- ⑥ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑦ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
- ⑧ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

14. 表彰について

【全競技者対象】

表彰は行いません。なお、希望者には記録証を1部300円で発行しますので10:00~15:00に、TIC へ申し込んでください。郵送等はありません。

15. 一般注意事項

【全競技者対象】

- ① トレーナブースは開設しません。
- ② プログラムに誤記がある場合は、出場する競技の2時間前までにTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。(受付用紙は TIC に置きます)。
- ③ 悪天候により競技を一部中断もしくは中止することがあります。
- ④ 撮影についてのお願い:悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限ります。
 - 1) 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
 - 2) 出場競技者の学校、クラブ等の関係者や保護者、家族等
 - 3) 大会事務局また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできません。
なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがあります。
- ⑤ 大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他陸上競技普及に関する広報に使用することがあります。
- ⑥ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡してください。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に十分留意してください。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合があります。
- ⑦ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとします。
- ⑧ 競技場
 - i. 競技場の関係者入口の開門は7:30、閉門は17:00とします。
 - ii. 競技場の観客席の開門は8:00、閉門は17:00とします。
 - iii. 貴重品及び荷物は各自で管理してください。万一の事故があっても責任は負いません。
 - iv. 届けられた遺失物は TIC で競技終了まで保管します。
 - v. 競技会場における広告及び展示物に関する規程にもとづき、スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は一切認めません。
 - vi. 応援において、周囲の観客へ応援グッズを配布すること、応援グッズに所属企業名(スポンサー名)の露出をすることを禁止します。(ただし、本競技会スポンサーはその限りではありません)。
 - vii. 競技場の環境美化に協力してください。各自出したゴミは持ち帰ってください。
 - viii. 競技場及び競技会で使用できる施設以外への立ち入りは禁止します。
- ⑨ 更衣室など
 - i. 更衣室は、極力三密を避けて使用してください。

- ii. 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定し、3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とします。
- iii. 更衣室への移動の際、立位競技者は、スタンド正面入口に入って左側の階段の通行を基本とし、利用します。更衣室から先の屋内廊下を通行することは禁止します。ただし、階段の通行に支障や不安のあるかたについては、Aゲート側のエレベーターの使用とAゲートから更衣室までの屋内廊下の通行を認めます。なお、これらに該当しない屋内廊下の通行は更衣室を利用する場合を除き競技役員の誘導がないかぎり禁止とします。
- iv. 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可します。

競技結果および番組編成リストは TIC に掲示します。また、速報サイトにも掲載します。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

Q R コードもご利用ください。



競技会コード 24130042

競技場コード 132090